

「岐阜」 観光もDXで活性化！ 可児市デジタルスタンプラリーが好評

可児市内の50の店舗・施設を巡る、LINEスタンプラリー「えらべるもらえる可児トラベル！」(主催：可児市、2025年4月23日～6月15日)は岐阜イーブックス(運営：株式会社太洋社)が運営にあたり、大好評のうちに終了しました。

良好な結果をもたらした最大の要因として、LINE公式アカウント上に、スタンプラリー参加者がトーク画面からスタンプの取得状況や景品応募まで直感的に操作できる仕組みを構築したことが挙げられます。

また、LINEという身近なプラットフォームの採用により参加のハードルが下がり、幅広い層の参加の促進

につながりました。また、抽選の景品として用意した、さまざまな電子マネーに交換可能な「えらべるPay」の利便性の高さも参加の動機になったと見られます。

このスタンプラリーの開催により期間中に600万円を超える市内消費(アンケートまとめ)を達成し、地域と連携した体験型誘客施策として大きな成果が得られました。

これを踏まえ、岐阜イーブックスでは、LINEを観光の継続窓口として活用し、イベントと連動した周遊企画を定例化するなどの新たな提案を行っています。



「石川」 強度も柔軟性も高い「紙」が結ぶ関係性

石川イーブックスを運営する前田印刷株式会社は、2025年10月、地元の県立大学と合同で防災をテーマとしたワークショップを開催いたしました。

A社より委託を受けた幼児向け防災パンフレットの制作が、ワークショップの企画の起点となりました。このパンフレットは、A社が発行する教材の一環として制作され、内容監修はワークショップ講師を務めたB社代表(元看護師)が担当しています。

2025年夏からワークショップの準備を始め、県立大学、子育て支援財団、A社、B社、石川イーブックスが中心になって取り組みました。当日

は、大学生に運営補助の協力を得ながら、親子20組にご参加いただきました。B社代表により医療現場での経験を踏まえ、災害時に赤ちゃんを守るために必要な行動や心構えについて具体例を交えた説明が行われ、参加者が親子で防災について考え学ぶ有意義な機会となりました。

石川イーブックスはA社とパートナー協定を締結しており、これまで同社が発行する教材や取り組みについて、県の外郭団体である子育て支援財団や、同財団と協力関係にある県立大学へ情報提供・周知を行ってきました。こうした継続的な連携を背景に、本ワークショップの実施が



具体化しました。

今後も石川イーブックスは、パートナー企業や地域の関係団体との連携を通じて、印刷分野にとどまらない価値提供を行い、地域社会に貢献できる取り組みを積極的に推進していきます。

ジャパンイーブックスは
全国29都道府県で活躍中！

<http://www.japan-ebooks.jp/>

※令和8年1月現在

ジャパンイーブックスは全国29都道府県で活動しています
〔事務局〕 Tel. 0985-51-2745 (株式会社宮崎南印刷 内)

■現在の加盟都道府県:北海道/山形県/秋田県/宮城県/福島県/茨城県/栃木県/東京都(多摩)/静岡県/長野県/岐阜県/富山県/福井県/石川県/京都府/兵庫県/奈良県/岡山県/山口県/香川県/徳島県/高知県/愛媛県/福岡県/大分県/佐賀県/長崎県/熊本県/宮崎県